

月間市況等報告集計表(4年5月分)

1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

(1) 市況の概要

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

種類	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	5月は上旬まで曇雨天の日が多く、生育や収穫が滞る傾向が見られた。GW後は例年の傾向から多品目で荷余りすると思われたが、曇雨天の影響から入荷量は予想外に落ち着いており、価格は堅調に推移。その後荷動き自体は落ち着いていたが、前段と後続産地が重なって入荷する状況となり、単価は安値傾向にあった。しかし、玉葱については依然として全体量が少なく高値基調であり、重量野菜の入荷不足から全体入荷量は1.634トン(前年比59%)、価格については前年比129%となりました。	1,634	59	275	129
			86		96
果実	国内果実はいちご・スイカ・りんごが主要品目であるなか、いちごが終盤戦でイタミが発生したり、スイカ・りんごの高値が継続し、結果として厳しい販売状況となった。施設品目(デラウェア・びわ・マンゴー)が始まり、高値基調であった。外果はトップシーズンであり、主力であるキウイ・バナナ・パイン・オレンジは好調な販売であったが、円安の影響で前年の2~3割高で推移し全体的に高値基調であった。	953	81	337	114
			94		97

(2) 主要品目の市況

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

主要品目	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	だいこん	99	49	143	172
			95		110
	きゅうり	132	65	260	102
	108		102		
菜	なす	76	67	369	99
			97		107
	とまと	145	61	302	106
	121		87		
馬鈴薯	鹿児島産中心の販売で上旬は単価高で推移したが、中旬以降、他産地も含めて数量が多くなり、気温も上昇したこと等から単価安の状態が続いた。	153	66	153	56
			67		61
果	甘夏 サンフルーツ	20	65	211	106
			182		97
実	いちご	22	105	1001	103
			39		97
	サンふじ	35	70	470	154
			55		114
すいか	34	46	318	122	
		189		90	
グレープ	17	77	244	129	
		85		106	

2. 取扱品目の卸売実績

(金額:税込み)

種類	数量(kg)			金額(円)			
	受託	買付	計	受託	買付	計	
野菜	一般野菜	1,073,089	559,866	1,632,955	311,690,589	179,088,579	490,779,168
	加工野菜	9,873	3,595	13,468	1,501,779	1,694,577	3,196,356
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
計	1,082,962	563,461	1,646,423	313,192,368	180,783,156	493,975,524	
果実	一般果実	58,137	867,476	925,613	46,231,412	285,115,058	331,346,470
	加工果実		16,388	16,388		7,802,690	7,802,690
	その他						
	冷凍食品						
	計	58,137	883,864	942,001	46,231,412	292,917,748	339,149,160
合計	1,141,099	1,447,325	2,588,424	359,423,780	473,700,904	833,124,684	